

大分県エネルギー産業企業会

令和5年度総会 議案書

令和5年6月26日(月)

第1号議案

役員の変更について（案）

規約第4条第2項の規定により、役員を変更する。

1 副会長

【旧】

氏名	企業・団体名	役職	備考
和仁 寛	九州電力(株)大分支店	執行役員支店長	
越智 義道	大分大学	理工学部長	
高濱 航	大分県	商工観光労働部長	

【新】

氏名	企業・団体名	役職	備考
中村 直樹	九州電力(株)大分支店	執行役員支店長	
小林 祐司	大分大学	理工学部長	
利光 秀方	大分県	商工観光労働部長	

2 監事

【旧】

氏名	企業・団体名	役職	備考
永松 秀基	(株)大分銀行	法人営業支援部長	
緒方 雄二	大分県産業科学技術センター	参事監兼次長	

【新】

氏名	企業・団体名	役職	備考
阿南 裕輔	(株)大分銀行	法人営業支援部長	
宮沢 哲	大分県産業科学技術センター	センター長	

改選後の顧問・役員名簿

【顧問】

役職	氏名	企業名等	役職	備考
顧問	佐藤 樹一郎	大分県	知事	新任
	村上 憲郎	(株)村上憲郎事務所	代表取締役	

【役員】

役職	氏名	企業名等	役職	備考
会長	佐藤 廣士	(株)神戸製鋼所	顧問	
副会長	石井 四郎	(株)デンケン	代表取締役会長	
	中村 直樹	九州電力(株)大分支店	執行役員支店長	新任
	小林 祐司	大分大学	理工学部長	新任
	山口 利幸	大分工業高等専門学校	校長	
	利光 秀方	大分県	商工観光労働部長	新任
監事	阿南 裕輔	(株)大分銀行	法人営業支援部長	新任
	宮沢 哲	大分県産業科学技術センター	センター長	新任

第2号議案

令和4年度事業実績及び収支決算について

令和4年度事業実績

1 定時総会

- ・新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、会場出席とオンラインを併用して、定時総会を開催し、令和3年度事業実績及び収支決算、令和4年度事業計画及び収支予算を議決した。

また、株式会社ユーグレナ執行役員エネルギーカンパニー長の尾立維博氏から「バイオ燃料（ジェット燃料と次世代バイオディーゼル燃料）の事業開発について」をテーマに特別講演をいただいた。

開催日 令和4年6月16日（木）

場 所 レンブラントホテル大分（大分市）

（会員の状況）

- ・会員の募集については、随時受付を行っている。

令和5年3月31日時点での会員の状況は以下のとおり。

会員数 313 ※設立時146

内訳 企業 287、大学等 6、行政機関 20

2 企画運営委員会

- ・定時総会に諮る議案を協議した。
- ・令和4年度企業会事業の進捗管理及び県の関連施策の協議を実施した。
- ・令和5年度以降の企業会事業の協議を実施し、暫定事業計画及び予算について議決した。

（委員）

石井 源太（株式会社デンケン 代表取締役社長） ※委員長

大部 慶敬（九州電力株式会社大分支店 企画・総務部広報・地域共生グループ長）

木原 倫文（いくつものかたち株式会社 代表取締役）

鈴木 博祐（大分瓦斯株式会社 常務取締役）

高木 伸好（江藤産業株式会社 専務取締役）

永岡 壯三（大分石油株式会社 代表取締役社長）

林 正基（株式会社ターボブレード 代表取締役社長）

柳井 智雄（柳井電機工業株式会社 代表取締役社長）

(委員会開催実績)

第1回 令和4年 5月31日 (火)

第2回 令和4年10月11日 (火)

第3回 令和5年 2月16日 (木)

3 エコエネルギーチャレンジ支援

- ・ 会員企業のエネルギーに関するチャレンジングなビジネス展開を総合的に支援した。
- ・ 再エネの新規導入に関して、会員企業同士のマッチングを行った。
- ・ 国の補助金や規制緩和要望、県外企業や大学・研究機関との連携などについて、事務局がサポートを行った。
- ・ 大分県版水素サプライチェーンの構築に向けた実証を実施した。

委託先	実施内容
江藤産業 (株)	・ 九重町で清水建設 (株) が実施した「地熱・木質バイオマスによる水素製造実証事業 (環境省委託事業)」で製造した水素の収集・搬送

- ・ 「エコエネルギーチャレンジ支援事業費補助金」の募集を行い (2回。※1回目: 年度当初、2回目: 9月補正予算措置後)、有識者による審査委員会の審査結果を踏まえ、8事業 (※当初予算分: 3件、補正予算分: 5件) に補助金の交付を決定した。

● 大分県エネルギー産業企業会エコエネルギーチャレンジ支援事業費補助金
対象分野: 「水素」、「スマートコミュニティ・RE100」、「地域課題の解決や地方創生に繋がるエコエネルギーに関する取組」

補助率: 研究開発・人材育成事業費: 2/3以内

販路開拓事業費: 1/2以内

【令和4年度9月補正予算分】

対象分野: エコエネルギーに関する研究開発等

補助率: 2/3以内

【当初予算分】

分野	事業主体	概要
水素	佐伯重工業（株）	・ゼロエミッション外航船の市場投入に向けて、新しい設計コンセプトの構成を行った。
水素	(株)ビッグウェーブ カワサキ	・使用済み自動車を解体処理する際に発生する廃タイヤを高温ガス化し、発生したガス（水素）を活用してエネルギーに変換することで、自動車リサイクルとエネルギー供給という新たな仕組みを構築する。
スマート コミュニティ ・RE100	TPLAN(株)	・太陽光発電による蓄電システム「青空コンセント」において、小型電動車両向け交換型バッテリーに対応する充電システムとステーションの開発を行った。

【県9月補正予算追加分】

分野	事業主体	概要
エコエネルギーに関する研究開発	大分石油（株）	・竹の熱分解と水蒸気改質で生成した一酸化炭素を水蒸気と反応させて高濃度水素ガスを得る。
エコエネルギーに関する研究開発	(株)カートピア キクチ	・電動キックボードと太陽光発電を活用した充電ステーションを導入して、無人で借受けできるシェアリングサービスの実証実験を行った。
エコエネルギーに関する研究開発	(株)三和プレス	・非貴金属ベースの水素透過膜による水素精製システムの精製水素量を増加させる目的で、透過金属膜のモジュールを開発する。

エコエネルギーに関する研究開発	(有) 辻田建機	・ 温泉の熱を活用して水温を高め、水電解することにより、水素生産に必要な電力を従来の半分程度まで削減することを目指した実証研究を行う。
エコエネルギーに関する研究開発	(株)ハイドロネクスト	・ バナジウム膜を使った水素精製システムを用いて、既存インフラの都市ガスから水素を取り出すための予備実験として、都市ガスの主成分であるメタンガスからの水素精製について研究を実施する。

4 分科会・ワーキンググループ

- ・ 令和3年度に設置した「水素関連産業分科会」では、先進的な取組を行う企業による講演や事例発表、現地視察等を実施した。

分科会参加会員 22社（令和5年3月31日時点）

オブザーバーとして学識経験者、関連企業、行政が参加

	開催日	会議内容
第5回	令和4年 7月26日	・ 講演「水素社会に向けたトヨタの取組み」（トヨタ自動車（株））
第6回	令和4年 9月22日	・ 水素製造実証プラント視察（(株)大林組、清水建設（株））
第7回	令和4年11月 4日	・ 「KOSEN 水素フォーラム 2022」（佐世保市）への参加
第8回	令和5年 3月30日	・ 講演「純水素型燃料電池への取組」（パナソニック（株）エレクトリックワークス社） ・ 事例発表「ゼロエミッション外航船の市場投入に向けた新しい設計コンセプトの構成」（佐伯重工業（株））



R4.9.22 第6回分科会（水素製造実証プラント視察）の様子

- ・多くの人に水素への理解を深めてもらうため、大分県内で開催された各種イベントで「大分県の水素に関する取組のPR展示」を行った。

開催日	イベント
令和4年 7月30日 31日	スーパー耐久シリーズ2022 第4戦オートポリス (日田市)
令和4年10月 1日	OITAサイクルフェス!!!2022 (大分市)
令和4年10月29日	おおいたうつくし感謝祭 (大分市)

- ・同じく令和3年度に設置した「海外展開ワーキンググループ」では、県内企業の事例共有や情報提供等を実施した。

ワーキンググループ参加会員 11社 (令和5年3月31日時点)

	開催日	会議内容
第2回	令和4年 9月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・欧州連合国際都市・地域間協力 (IURC) 日欧地域間イノベーション協力について ・県内企業による海外展開事例共有 ((株) TMT. Japan、T-PLAN (株)) ・情報提供 (JICA 事業等)

5 展示会への出展

- ・会員企業の活動を広く全国に知ってもらい、販路開拓を強化するために、東京都で開催された「スマートエネルギーWeek2023」に大分県エネルギー産業企業会として会員企業4社と共同出展した。

来場者数：65,196人 (前年41,751人。)

商談中4件、見積依頼4件、資料請求6件の成果が得られた。

日時：令和5年3月15日（水）～17日（金）

場所：東京ビッグサイト

出 展 会 員	出 展 内 容
(株) オーイーシー	事業活動を行う上で排出するCO2の見える化を支援するシステムの紹介
新電力おおいた (株)	卒FIT家庭向け太陽光自家消費プランの紹介
(株) デンケン	太陽電池パネル検査サービスの紹介等
柳井電機工業 (株)	太陽光発電パネル検査ソフトの紹介



スマートエネルギーWeek2023の様子

6 セミナーの開催

- ・最新情報を提供することにより、県内事業者に対して、エネルギー産業への取組意欲を高めてもらうことや、経済産業省が行っている事業者向け省エネ補助金を積極的に活用してもらうことを目的に、各種セミナーを開催した。

開催日・テーマ	内容・講師
令和4年10月31日 省エネ実践セミナー	<p>・燃料高騰対策として、「すぐにできる省エネ」を実践してもらうことを目的として、省エネの専門的技術により、比較的短時間でローコストに成果が出やすい手法等を紹介した。</p> <p>(会場) J:COMホルトホール大分 408会議室 (WEB配信併用)</p> <p>(参加者数) 30人 (うちWEB16人)</p> <p>(講師) (一財) 省エネルギーセンター エネルギー使用合理化専門員 岩崎 隆 氏</p>

<p>令和4年12月13日 省エネ補助金活用 セミナー</p>	<p>・そもそも補助金とは何か？という基本から、最新の制度情報の提供まで、補助事業を活用して設備更新を行いたいと考える事業者のためになる情報満載のセミナーを開催したほか、会場で個別相談会も実施した。</p> <p>(会場) J:COMホルトホール大分 セミナールームS (WEB配信併用)</p> <p>(参加者数) 43人 (うちWEB19人)</p> <p>(講師) (株) アーストーンコンサルティング 代表取締役 鎌田 隆史 氏</p>
<p>令和5年2月22日 カーボンニュートラルに向けた省エネセミナー</p>	<p>・県内企業のカーボンニュートラルに向けた取組を推進するため、国の省エネ支援の動向や各種支援制度の活用イメージ等を紹介した。</p> <p>(会場) レンブラントホテル大分 二豊の間</p> <p>(参加者数) 63人</p> <p>(講師) 経済産業省資源エネルギー庁 省エネルギー課長 稲邑 拓馬 氏 (株) アーストーンコンサルティング 代表取締役 鎌田 隆史 氏</p>



R5. 2. 22 カーボンニュートラルに向けた省エネセミナーの様子

7 エコエネルギー導入支援

- ・国の地方創生臨時交付金を活用した事業として、原油・原材料等の価格高騰の影響を受けている会員等の負担軽減を図るとともに、エコエネルギーの導入を促進することを目的として、自家消費型エコエネルギー設備の導入を支援した。

●大分県エコエネルギー導入支援事業費補助金

予 算 額：10億円（9月補正予算：4億円、12月補正予算：6億円）

補助件数：127件

対象設備：自家消費型エコエネルギー発電設備等（太陽光発電＋蓄電池 等）

補 助 率：3/4以内

補助上限額：1,000万円

8 その他

- ・新エネコーディネーター及び省エネコーディネーターを企業会内に配置し、新エネ・省エネに関する相談や情報提供を行った。

	活動事業者（団体名等）	活動内容
新エネコーディネーター	地熱ワールド工業(株) 産学官連携コーディネーター OB (株)マツヲ3企画	湯けむり発電に関する視察受入対応、再エネ導入に向けた相談対応等を行った。(R4実績： <u>40</u> 件)
省エネコーディネーター	NPO法人大分県地球温暖化 対策協会OB	機械製造工場、食品加工場、ホテル・旅館などを訪問し、省エネ投資に関する情報提供や国の省エネ補助金の紹介等を行った。(R4実績： <u>152</u> 件)

- ・企業会ホームページや会員向けメールマガジンによる情報提供を行った。

企業会ホームページ	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 会員一覧（各会員ホームページへリンク） ✓ 各種支援制度紹介 ✓ セミナー等のお知らせ など
会員向けメールマガジン	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 国・県の補助金情報 ✓ セミナーのお知らせ
※適宜、配信	<ul style="list-style-type: none"> ✓ その他、会員に有益と思われる情報 など

令和4年度収支決算

自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日

収入の部

(単位：円)

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	差引 (B-A)	備考
会費	675,000	660,000	△ 15,000	2社退会、1社未納 (会費5,000円)
負担金	65,971,000	65,971,000	0	当初予算65,971,000円
負担金 (追加分)	1,050,000,000	1,050,000,000	0	9月補正450,000,000円、12月補正600,000,000円
繰越金	4,189,099	4,189,099	0	
諸収入	0	191	191	預金利息
計	1,120,835,099	1,120,820,290	△ 14,809	

支出の部

(単位：円)

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	差引 (B-A)	備考
エコエネルギーチャレンジ支援事業費	109,055,500	55,030,740	△ 54,024,760	
補助金	29,000,000	15,000,000	△ 14,000,000	令和4年度中の事業完了2件を執行、残り1件は次年度繰越
補助金 (9月補正分)	50,000,000	10,000,000	△ 40,000,000	令和4年度中の事業完了1件を執行、残り4件は次年度繰越
委託料	30,000,000	30,000,000	0	大分版水素サプライチェーン実証委託
報償費	49,200	30,740	△ 18,460	補助金審査委員会・外部講師謝金の執行残
旅費	6,300	0	△ 6,300	補助金審査委員会・外部講師・先進地視察旅費の執行残
エコエネルギー導入支援事業費	1,000,000,000	66,360,273	△ 933,639,727	
補助金 (9月補正分)	400,000,000	53,666,173	△ 346,333,827	エコエネルギー導入支援事業補助金 (9月補正分) 令和4年度中の事業完了8件を執行
補助金 (12月補正分)	600,000,000	12,694,100	△ 587,305,900	エコエネルギー導入支援事業補助金 (12月補正分) 令和4年度中の事業完了2件を執行
人材育成・会員交流事業費	2,060,000	544,260	△ 1,515,740	
報償費	450,000	240,000	△ 210,000	セミナー及び水素分科会の講師謝金の執行残
旅費	330,000	23,700	△ 306,300	セミナー及び水素分科会の講師旅費の執行残
役務費	40,000	0	△ 40,000	セミナー案内に係るFAX代の執行残
委託料	890,000	0	△ 890,000	セミナー等のWEB配信委託料 今年度は委託せずWEB配信を行ったための減
使用料及び賃借料	350,000	280,560	△ 69,440	セミナー等の会場借上料の執行残
販路開拓・情報発信事業費	7,652,000	6,066,514	△ 1,585,486	
報償費	3,052,000	2,968,000	△ 84,000	コーディネーターの実働に応じた謝金の執行残
旅費	950,000	336,985	△ 613,015	コーディネーターの実働に応じた旅費の執行残
印刷消耗品費	120,000	41,690	△ 78,310	展示会出展時に係る消耗品費の執行残
役務費	30,000	1,474	△ 28,526	展示会出展パンフレット等送料の執行残
使用料及び賃借料	3,500,000	2,718,365	△ 781,635	展示会出展料小間料、小間装飾料の執行残
事務局経費	2,067,599	1,841,428	△ 226,171	
報償費	50,000	50,000	0	総会講師謝金
旅費	200,000	104,048	△ 95,952	総会講師旅費の執行残
食糧費	20,000	103,793	83,793	会議に伴うお茶代等の増
印刷消耗品費	130,399	191,569	61,170	事務用品費の増
役務費	180,000	223,247	43,247	通信費、振込手数料の増
使用料及び賃借料	1,200,000	911,111	△ 288,889	総会会場借上料 (オンライン配信委託含) の執行残
負担金	271,200	235,200	△ 36,000	会計事務一元化に伴う県工連への負担金の執行残
公租公課	16,000	22,460	6,460	講師等謝金の所得税の増
繰越金		17,337,348		当初予算からの繰越し額 (エコチャレ補助金の繰越等)
繰越金 (追加分)		973,639,727		9月・12月補正予算の繰越し額
計	1,120,835,099	1,120,820,290		

令和4年度会計監査報告

大分県エネルギー産業企業会規約第5条第3項の規定に基づき、令和4年度（令和4年4月1日～令和5年3月31日）の本企業会の会計を監査した結果、諸帳簿、預金、関係証拠書類等について、いずれも適正に処理及び保管されていることを確認したので報告する。

令和5年5月25日

監 事 永松 秀基



第3号議案

令和5年度事業計画及び収支予算について

令和5年度事業計画

1 基本的な方向性

- ・2050年カーボンニュートラルに向けた変革の機会を、県内エネルギー関連企業にとってのビジネスチャンスにつながるものと捉え、各種施策を企画・実施する。
- ・特に、カーボンニュートラルに必要なエネルギーとして位置づけられている水素に関しては、水素関連産業分科会の取組をさらに活性化させる。
- ・また、再生可能エネルギーに関しては、小水力発電や熱利用など本県の潜在的なポテンシャルを最大限に活かすため、県と連携して企業が投資しやすい環境を整える。
- ・併せて、会員企業によるエコエネルギーに関する新製品開発等のニーズに対応するため、従来から行っている研究開発経費の一部補助を継続する。また、セミナーや分科会を通じた企業間交流の促進や展示会への出展などを通じた販路開拓支援も引き続き行う。

2 エコエネルギーチャレンジ支援

会員企業のエネルギーに関するチャレンジングなビジネス展開を総合的に支援

(1) 研究開発、人材育成及び販路開拓等に関する支援「水素」「スマートコミュニティ及びRE100」「その他地域課題の解決や地方創生に繋がるエコエネルギーに関する取組」

- ・会員から、「新製品や部品の開発」、「試作品の実証試験」などの事業プランを募集
- ・有識者による審査会を経て、採択された事業プランに対し、必要経費の一部を助成

【補助率】 2／3以内

【補助上限額】

① 1,000万円（水素、スマートコミュニティ・RE100）

※廃棄物からの水素精製にかかる事業は1,500万円

② 200万円（地域課題解決・地方創生関連）

【その他】単独企業による事業プランより、複数企業や研究機関、大学等と連携した事業プランを優先

(2) 分野別支援（全分野）

- ・国の補助金や規制緩和要望、県外企業や大学・研究機関との連携などについて、事務局がサポート

3 人材育成・会員交流の取組

(1) 水素関連産業分科会

- ・本県が有する水素ポテンシャルを活かし、県内における水素関連産業の育成に向けた取組を進めるため、当分科会の活動を継続
- ・国立高等専門学校機構が主催する「KOSEN 水素フォーラム」が今年度は大分県（別府市）で開催される予定（11月2日）であることから、フォーラムと連携した取組を実施

(2) 海外展開ワーキンググループ

- ・脱炭素社会の実現を目指して世界的に再生可能エネルギーなどの環境技術に対するニーズが高まっていることなどを受け、海外での販路開拓の可能性を探るとともに、海外のエネルギー情勢等についての勉強会やセミナーなどを実施

(3) 最新情報等に関するセミナーの開催

- ・再生可能エネルギーや省エネルギー分野に係る最新技術や制度など、会員のニーズに沿ったテーマを設定し、専門家を招いたセミナーを開催
- ・特に、企業における省エネは、カーボンニュートラルに向けたベースとなる取組であり、省エネ補助金活用セミナー（毎年大分市内で開催）に加え、省エネコーディネーターによる地域巡回型の個別支援を実施

(4) 商談交流会の実施

- ・会員企業の製品サービスのPRや情報交換の場とするため、総会及びセミナーの開催にあわせた商談交流会を実施

4 販路開拓・情報発信の取組

(1) 展示会への出展

- ・「スマートエネルギーWeek 2024」等への出展

(2) 水素関連産業分科会 ※再掲

(3) 海外展開ワーキンググループ ※再掲

(4) コーディネーターの配置

- ・再生可能エネルギー分野においては、専門分野に応じた人員を配置し、導入に向けた相談対応等を実施
- ・省エネルギー分野においては、国の補助金を効率的に活用し、省エネに取り組む県内企業を支援

① 新エネコーディネーター

業務内容	再生可能エネルギー設備（発電・熱利用）の導入に係る相談受付、現地調査、事業性アドバイス、資金調達、各種法令手続のサポート
配置人材	【地熱・温泉熱発電】 (株)マツヲ 3 企画から派遣 【湯けむり発電システム】 地熱ワールド工業(株)から派遣 【小水力発電】 いくつものかたち(株)から派遣

② 省エネコーディネーター

業務内容	補助、融資等の支援制度や省エネ設備に関する情報提供、支援制度の利用手続のサポート、省エネ設備サプライヤーの斡旋等
配置人材	小坂 彰氏

(5) 専用ホームページ

- ・ 企業会の取組について情報発信

(6) 会員向けのメールマガジン

- ・ 国、県等の支援施策情報をメールマガジンにより会員へ随時配信

5 その他

- ・ 県では、今後、令和5年度補正予算（いわゆる肉付予算）が編成される予定であり、本企業会活動の拡充のための予算も検討される。
- ・ その他、必要な事業については、適宜、企画運営委員会において検討し、実施する。

大分県エネルギー産業企業会 令和5年度収支予算

自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日

収入の部

(単位:円)

科目	前年度当初予算(A)	本年度当初予算(B)	対前年度比(B-A)	備考
会費	675,000	1,200,000	525,000	企業会会員の増(R4:135→R5:240)
負担金	65,971,000	35,971,000	△ 30,000,000	県負担金
繰越金	4,189,099	17,337,348	13,148,249	
繰越金(9月・12月補正分)	0	973,639,727	973,639,727	令和4年度9月・12月補正予算の繰越金
計	70,835,099	1,028,148,075	957,312,976	

支出の部

(単位:円)

科目	前年度当初予算(A)	本年度当初予算(B)	対前年度比(B-A)	備考
エコエネルギーチャレンジ支援事業費	59,055,500	84,055,500	25,000,000	
補助金	29,000,000	29,000,000	0	水素、RE100・スマートコミュニティ、地域課題等
補助金(R4当初 繰越分)	0	15,000,000	15,000,000	エコチャレ R4からの繰越
補助金(R4.9月補正 繰越分)	0	40,000,000	40,000,000	エコチャレ追加募集枠 R4からの繰越
委託料	30,000,000	0	△ 30,000,000	R4大分版水素サプライチェーン実証委託
報償費	49,200	49,200	0	補助金審査会委員・外部講師謝金
旅費	6,300	6,300	0	補助金審査会委員・外部講師・先進地視察旅費
エコエネルギー導入支援事業費	0	933,639,727	933,639,727	
補助金(R4.9月補正 繰越分)	0	346,333,827	346,333,827	エコエネ導入補助金1次募集 R4からの繰越
補助金(R4.12月補正 繰越分)	0	587,305,900	587,305,900	エコエネ導入補助金2次募集 R4からの繰越
人材育成・会員交流事業費	2,060,000	1,060,000	△ 1,000,000	
報償費	450,000	450,000	0	セミナー及び水素分科会の講師謝金
旅費	330,000	310,000	△ 20,000	セミナー及び水素分科会の講師旅費
役務費	40,000	0	△ 40,000	セミナー案内に係るFAX代
委託料	890,000	0	△ 890,000	セミナー等の会場借上料WEB委託
使用料及び賃借料	350,000	300,000	△ 50,000	セミナー等の会場借上料
販路開拓・情報発信事業費	7,652,000	8,002,000	350,000	
報償費	3,052,000	3,052,000	0	コーディネーター謝金
旅費	950,000	600,000	△ 350,000	コーディネーター旅費
印刷消耗品費	120,000	120,000	0	展示会出展時に係る消耗品費
役務費	30,000	30,000	0	展示会出展パンフレット等送料
使用料及び賃借料	3,500,000	4,200,000	700,000	展示会出展料小間料、小間装飾料
事務局経費	2,067,599	1,390,848	△ 676,751	
報償費	50,000	50,000	0	総会講師謝金
旅費	200,000	120,000	△ 80,000	総会講師旅費
食糧費	20,000	320,000	300,000	総会交流会飲食費、会議茶代等
印刷消耗品費	130,399	84,848	△ 45,551	事務用品費
役務費	180,000	180,000	0	通信費、振込手数料
使用料及び賃借料	1,200,000	380,000	△ 820,000	総会会場借上料
負担金	271,200	240,000	△ 31,200	会計事務一元化に伴う県工連への負担金
公租公課	16,000	16,000	0	講師等謝金の所得税
計	70,835,099	1,028,148,075	957,312,976	